

中期経営計画2023-2025

働くすべての人が幸せになる経営を実現する

2023年 7月



大有建設株式会社

INDEX

1. 中期経営計画2018の総括	1
2. 経営計画の策定の方針と実行のポイント	2
3. 新たなパーパス・ミッション・アクション	3
4. 基本方針と目指す姿	4
5. 基本戦略	5
6. 2025年(70期)の主な目標	6

1. 中期経営計画2018の総括

業績	<ul style="list-style-type: none"> ● 経常利益は目標(17億円)以上となった ● 58期(3.2%)の約3倍の経常利益率に達した
社会状況と建設を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 想定外の新型コロナウイルスの世界的流行、ロシアのウクライナへの軍事侵攻が発生し、経済活動が低下し、物資の高騰に見舞われている ● 官庁工事の発注状況は良好で、設計単価の上昇など受注環境が良くなった ▼ 同業他社との技術力・営業力の差以外に、会社の魅力(SDGsへの取組みなど)の発信に差があり、新卒採用に差が出ている
経営計画と年度計画との適合性	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎年度の収益に効果がある戦略～行動計画については、各部門で現業内の活動として実行して成果も上がっている ▼ 収益以外の働き方や企業イメージ向上などの計画は、未達になるものがあり、推進する人員の確保や計画の選択も必要
戦略・戦術の実績と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 官庁工事・舗装工事は好調で、多くの発注者から表彰や優秀企業認定を受け、遮熱性舗装の施工も13.5万m²に達した ▼ クラウドやワークフロー、電子小黒板などのDX化の導入が進んだ一方、現在の仕事をDX化で変えることに抵抗もある ・ 有給休暇の取得や残業の削減などの課題が残り、効果のある仕組みやツール、制度(規程)を整備していくことが必要

2. 経営計画の策定の方針と実行のポイント



経営計画策定の方針

- **10年後の大有建設(全体)が目指す姿(ビジョン)は、ミッションの実現とする**
 - ・法令を遵守し、世の中から信頼され、誰もが憧れる会社になる
 - ・持続的な成長を目指し、知恵と工夫とチャレンジをもって未来を創造する会社になる
 - ・世の中の人々を幸せにするために、多様性を尊重し、和をもって風通しの良い活力ある会社になる
- **ミッションを実現するための3年間に必要な戦略・戦術を立てる**
 - ・SDGsの取組みと目標、カーボンニュートラルの目標を加味し戦略・戦術を立てる

経営計画の 策定のポイント

- **実行していく経営計画を策定する**
 - ・目指す姿(ミッションの実現)を具現化する活動(戦略・戦術)・目標(可能な限り数値)を考えて立案する
 - ・経営計画と年度計画、評価のリンクを検討する(経営計画の活動を確保した売上げ利益計画とする)

3. 新たなパーパス・ミッション・アクション

パーパス	信用と知恵と和をもって、安心・快適な生活環境づくりに貢献する
ミッション	<ul style="list-style-type: none"> ●法令を遵守し、世の中から信頼され、誰もが憧れる会社になる ●持続的な成長を目指し、知恵と工夫とチャレンジをもって未来を創造する会社になる ●世の中の人々を幸せにするために、多様性を尊重し、和をもって風通しの良い活力ある会社になる
アクション	<p>Think【考える】 ・常に未来を創造し、自ら考えチャレンジしよう</p> <p>Acceleration【加速】 ・世の中の早い変化に対し、考動を加速しよう</p> <p>Integrity【誠実】 ・常に法令(独占禁止法、建設業法など)を遵守し行動しよう</p> <p>Younger generation【新時代・若い世代】 ・我々は子供達から「未来を借りている」。培った知識と技術を若い世代へ継承し持続的な成長に繋げよう</p> <p>Unity【協同】 ・すべての人との意思疎通を図り、助け合い、一体となって最善を尽くそう</p>

4. 基本方針と目指す姿

中期経営計画の基本方針

働くすべての人が幸せになる経営を実現する



目指す姿

建設	環境の変化に対応し、世の中の人々が幸せとなる生活環境づくりに貢献する
製販	人や社会、環境にやさしいサステナブルな製品販売事業を目指す
環境	多様なニーズへの挑戦 軌跡を糧にさらなる布石を打つ
グローバル	技術と知恵でベトナムの人々の快適で安心な環境づくりに持続的に貢献し、グローバル事業を成長させる
技術	人や環境にやさしい研究開発を通し、持続可能な社会に貢献する
総務	多様な働き方への尊重と採用活動の強化により、働く人を幸せにする職場づくりを推進する
経理財務	環境(時代・デジタル・IT)の変化に柔軟に対応し、未来を創造する経営管理をしていく
経営企画	業務プロセスの最適化、社員の育成、新規事業の創出を図って企業価値を向上していく
品質安全	「品質向上と競争力の強化」、「事故・災害の撲滅と健康経営」に積極的に取り組む

5. 基本戦略

既存事業向上戦略



- 道路分野での技術的優位性確立
- 建設DX(ICT施工、BIM/CIM, XRなど)推進
- 施工体制の強化など

新規事業戦略



- アグリ(トマト)事業の拡大
- 新たな事業の創出

環境経営戦略



- 環境配慮とカーボンニュートラルへの取組み
- ペーパーレス化、サステナブル製品の利用

働き方戦略



- 業務の効率化・労働時間の短縮
(休日取得の推進)
- 基幹システム更新、RPAやAIを活用した
業務の効率化・省人化
- 人材の育成と技術の継承

企業イメージ向上戦略



- 社会貢献活動の推進
- 顧客との継続的・安定的な関係の構築

6. 2025年(70期)の主な目標

既存事業向上戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT施工などの積極的活用（施工件数/年） ・製品販売 地域シェアの確保（各地域目標シェア）
新規事業戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・さなげ農場の事業拡大（2022年度の4倍）
環境経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス(デジタル)化の積極的推進 コピー紙の利用（30%削減） ・サステナブル製品の利用率（100%利用） ・カーボンニュートラル（Scope1・2合わせて 2013年度比5.5%削減） ・低炭素(中温化)合材の利用（10現場以上の試行/年）
働き方戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・残業時間（全社平均 540時間未満） ・有給休暇取得率（平均70%以上） ・女性技術職の増員（+7名以上） ・男性の育児休業取得率（50%以上）
企業イメージ向上戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等の情報発信（週1回以上） ・工事評価点の向上（発注者毎の目標評価点）

